

平成 23 年度 第 1 回理事会議事録

1. 日 時：平成 23 年 5 月 21 日（土）13：30～15：20
2. 場 所：航空会館 6 階 603 会議室
3. 理事会出席者（計 10 名）：
牧野 健、坂井 正一郎、甲賀 大樹、吉田 正克、秋山 崇道、軸屋 忍、
土屋 宣幸、中村 暢宏、増谷 一夫、吉田 茂
書面表決（4 名）：板倉 忠興、大平 雅大、野田 迪郎、万場 泰雄
（全議事について賛成）
委任状提出（3 名）：鈴木 康一、中塚 総一郎、堀田 省二郎
出席監事：谷口 良知 山本 隆章

議事に先立ち、議長より以下説明があった。

- * 理事会は定款第 28 条第 2 項により、会長が議長を務める。
- * 理事総数 19 名中、直接表決ならびに委任状を含む 17 名が出席、定款第 29 条第 1 項により、理事会定足である理事総数の 3 分の 2、13 名を満たしていることから本理事会は有効に成立。
- * 定款 27 条により議長が議事録署名人に坂井正一郎理事並びに中村暢宏理事を指名、了承を得た。

4. 議事について

4.1 状況説明

議長の指名により議案議決に先立ち、甲賀常務理事から各議事についての説明がなされた。また、第 2 号議案 収支決算案についての甲賀常務理事による説明後、第 1 号議案 事業報告案も踏まえて、山本監事より 22 年度監査報告が行われた。

4.1.1 第 1 号議案：事業報告案の要点

- * 近年の飛行イベントへの参加者数減少を踏まえ、より現実的的事业遂行の一環としてセミナーを重点的に実施した。

4.1.2 第 2 号議案：収支決算案の要点

- * 昨今の経済状況の不況により、会員数が減少し、これと連動して協会収入も減少している。
- * 個別事業収支では、機関誌発行事業での赤字が大きく、発行形態等見直す必要もあるが、会員の獲得、外部への発信という点で、極度に縮小することも難しく、あらゆる側面からみて一番良い形での運営実施を検討しなければならない。

4.1.3 第 3 号議案：現法人役員改選の要点

- * 現役員の前任期が本年度 8 月までとなっており、また、新法人移行申請をしてから認可まで、最低 4 か月要することを考慮し、現法人として運営を要する期間を引き続き現役員に重任してもらい、新法人の認可と同時に新法人役員に交代するかたちをとりにしたい。
- * 新法人移行申請は年内には実行するため、今回の改選により現役員の前任期が定款に定める 2 年を満たすことはない。

4.2 各議事に対する提案および討議

- * 第 2 号議案 収支決算を踏まえ、今後の収入源の確保の一途として、飛行活動から退いたグライダー愛好者に対し、年齢的、会員継続年数等の一定の条件を満たした者を終身メンバーとして登録することを視野に入れた施策等を講じる必要があること、各事業における収支バランスの正常化を図るための実施形態見直し検討の必要性を確認した。

5. 議案決議について

- * 第 1 号議案 平成 22 年度事業報告（案）について
書面表決ならびに議長委任を合わせ出席理事全員の賛成により定款第 29 条第 2 項に基づき、賛成多数で本議案を可決、理事会決議とした。
- * 第 2 号議案 平成 22 年度収支決算（案）について
書面表決ならびに議長委任を合わせ出席理事全員の賛成により定款第 29 条第 2 項に基づき賛成多数で本議案を可決、理事会決議とした。
- * 第 3 号議案 現法人役員改選について
書面表決ならびに議長委任を合わせ出席理事全員の賛成により定款第 29 条第 2 項に基づき本議案を可決、理事会決議とした。

以上を以って全ての議事を終了し、15時20分に議長の閉会宣言により閉会した。

平成23年5月21日
社団法人日本滑空協会

議長 会長 牧野 健 

議事録署名人 理事 坂井 正一郎 

同 理事 小野 暢宏 